

令和5年度 学校評価まとめ

(1) アンケート集計

教育目標具現化のための重点内容	数字は、肯定的な意見(5「よくあてはまる」と4「ややあてはまる」)の割合です。	
	保護者 (%)	教職員 (%)
1 教育方針や児童の様子を学校だより、学年だより、メール等で分かりやすく伝えている。	93	100
2 児童の安全確保や事故防止に努めている。	90	100
3 児童や保護者からの相談に親身に寄り添い、適切に対応している。	87	100
4 児童を理解し、一人一人に合わせて支援や配慮をしている。	88	100
5 面談等で児童の良い面や努力点を伝えている。	95	100
6 いじめのない学校づくりに努めている。	78	100
7 楽しくわかりやすい学習指導を行っている。	87	100
8 保護者や地域と連携し、よりよい学校づくりに努めている。	88	91

※R5年度は、前後期の学校評価の平均値を掲載しています。

(2) 考察

- ・「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせるとほとんどの項目で9割近く、概ね良好と言える。特に、設問1、設問5については、日頃の児童の様子をタイムライン、連絡帳、電話、面談等で機会を捉えて情報発信していることが評価につながったと考えている。今後も継続していく。
- ・設問6「いじめのない学校づくり」について、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と約2割が回答した。今年度は、大きないじめがあり、現在、全職員でいじめのない学校づくりに取り組んでいる。外部の講師を迎え、いじめ防止教室を4回に渡って行った。また、人権週間には、各学級で人権について話し合い、標語を作成し掲示することで、人権意識の高揚を図った。来年度も引き続き、いじめ防止に向け、いじめ防止教室の受講、県の豊かな人間関係作りの実践プログラム(ピア・サポート)の実践などを行っていききたい。
- ・設問7「楽しくわかりやすい学習指導」に関しては、1割が「あてはまらない」と回答した。一人一人の学習状況を把握し、児童の「わかった」「できた」を大切にする個に寄り添った学習指導に今後も努めていきたい。